

JBN REPORT

全国工務店協会

8月号
Vol.82
2023



◆第16期代議員総会報告

第16期代議員総会が、6月30日（金）午後にロイヤルパークホテル（東京・日本橋）で開催され、代議員55名、連携団体のオブザーバー10名を合わせて65名の参加がありました。

第1部 代議員総会

審議事項であった第15期事業報告（案）および第15期収支決算（案）に関する件が審議承認されました。

また、その他の事項として、事務局から第16期事業計画および収支予算、全国会員交流会に関する件が報告され、議案のすべてを終了し、代議員総会第1部は終了となりました。



第2部 基調講演

第2部基調講演として、国土交通省住宅局住宅生産課木造住宅振興室長の石井様から、『住宅生産行政の最近の動向』と題してご講演をいただきました。

建築物への木材利用は、脱炭素、カーボンニュートラルの実現に資するものとして意義があります。公共建築物の木材利用促進法や建築基準法の改正でも、脱炭素社会の実現がキーワードとされ、住宅だけでなく中大規模建築物への木材利用が広がり始めています。

二酸化炭素の吸収源となる森林をしっかりと保全していくためには、植林と木材活用が必要です。建築物への木材利用は森林資源の循環に寄与します。また、コンクリートや鉄骨に比べて構造材生成時の二酸化炭素排出が少ない木材には

優位性があります。国産材や地域材の利用も、物流から生じるCO₂を抑え、カーボンニュートラルに資する活動になると想えられます。

木造戸建住宅の供給戸数262千戸のうち、中小大工・工務店による木造住宅供給戸数が131千戸と5割を占めています。気候・風土・文化は、地域ごとに多様です。地域の気候に適用した性能の住宅の仕様は、合理的な設計に基づく安価な住宅を供給し、地域の風土・文化を踏まえた住まいは、地域独自の街並み景観の形成や地域資源の活用による地域経済に寄与します。地域に根差した住宅供給事業者の必要性が改めて認識されています。

代議員をはじめ関連事業者会員も多く参加し、今後の住宅業界の動向について熱心に聞き入っていました。



第3部 懇親会

第3部として懇親会を開催しました。安成副会長の開会挨拶と乾杯の発声で始まりました。4年ぶりに大人数での総会開催となり、活発な意見交換が行われました。

歓談の後、今期の全国会員交流会の実行委員長である日置理事が中締めの挨拶を行いました。



◆委員会報告

経営問題対策委員会

6月21日(水)・22日(木)

場所 岐阜県 参加者 11名

初日の委員会では、山田貴敏社長が経営する笠原木材株式会社(岐阜県高山市)の高山市内の引き渡し済みの物件を4件見学し、実際に住まわれている施主様のライフスタイルや、薪ストーブの利便性と活用方法などについて意見交換を行いました。その後、笠原木材の会社見学を実施しました。会社見学では、モデルハウスであるKASAHARA BASEの見学と、燃料チップ・バイオマスチップ生産工場や薪生産工場見学を実施し、1日目を終えました。



次世代の会

6月27日(火)・28日(水)

場所 静岡県

参加者 27名

今年度第1回の次世代の会では、静岡県浜松市の有限会社石牧建築の視察研修会を2日間行いました。石牧建築は、木材の適正や環境を見極め、手作業で組み立てる伝統工「手さみ加工」が特徴である工務店であり、初日の委員会では、手さみで加工の新築現場と引き渡し前の物件を2件見学しました。



情報調査委員会

7月5日(水) 13:30~17:00

場所 ビジョンセンター有楽町+オンライン

参加者 46名

今年度第2回の情報調査委員会では、4つの議題について議論を行いました。まず始めに国土交通省住宅局参事官(住宅瑕疵担保対策担当)付 山尾耕平企画専門官と(一財)住宅保証支援機構 濵谷浩一専務理事をお呼びして、住宅瑕疵担保責任保険制度の最近の動向についてご説明いただき、リフォーム瑕疵保険の利用促進について委員と意見交換を行いました。

その後、青木副委員長より、省エネ基準、4号特例縮小、その他の法改正について、現状の法改正関連のまとめの報告と工務店の対応策についてご説明いただきました。報告後の質疑応答では、主に4号特例縮小について議論が集中しました。



連携団体紹介

Introduction of associated groups

鹿児島県優良住宅協会は2010年に設立された団体です。現在の会員社数は14社。「木造が好き、地元の木材が好き、地域のために頑張っている」会員が集まっていると会長の有村さんは言いますが、事務局(株式会社高嶺木材)の支援のもと幅広い活動が精力的に展開されています。

協会設立当初から力を入れているのが、地域の住宅の性能向上とそれに対応するための技術向上。鹿児島県をはじめ南九州産の杉は強度が高いうえ、樹脂が多く虫害にも強いという優れた特性があり、こうした地元産材を生かした地域型住宅グリーン化事業にも協会を挙げて取り組んでいます。

申請作業は事務局がバックアップする一方、施工方法などは協会内で情報

交換しながらブラッシュアップ。現在では「協会全体で安定した技術レベルを確保している」(事務局長・宮地さん)とのことで、県内での高品質な住宅の提供を実現しています。

また、行政と緊密に連携し災害対応にも注力。県と災害協定を結び、応急仮設住宅の建て方講習なども定期的に実施するほか、隣県である熊本の木造仮設住宅について視察や勉強会を実施し、協会として技術を確立しています。県が開催する建築展で実物を披露した際には、一般ユーザーからも「住みやすそう」「別荘のような見た目」といった意見が聞かれ好評を得たほか、会員間でも「いざという時は力を合わせよう」という空気を醸成できたと有村さん。県民の安心に対しても、協会が一役買つ

ていることがうかがえます。

資材価格の高騰など逆境が続く工務店業界ですが、「対応していかなくては生き残れない」と話す有村さん。今後も最新の情報提供などを通じて会員へのバックアップは惜しまない考えです。

さらに、JBN理事でもある有村さんには、熱意ある会員の活動をホームページなどで発信し、一般消費者にも情報を届けたいという展望も。先進的な事例を展開することで業界の力を底上げし、地域の住生活を守っていきたいという意気込みがお話を随所から感じられました。



工務店紹介

Introduction of construction companies

静岡県浜松市にある、1995年創業の村木建築工房。現在は12名の従業員が在籍し、新築の年間着工棟数は約10棟。また、コロナ禍以降はリフォーム案件も好調に獲得しています。

同社の大きな特長は、地域材である天竜杉をあらわす「板倉造り」の家を多く手がけていること。古来からの工法ながら、地震や寒さにも強い板倉造りとの出会いが「家づくりの方向性を決定付けた」と話す社長の村木さん。

木本来のぬくもりが感じられると同時に優れた性能を持つ、質の高い住宅を提供し続けています。

さて、大工出身でもある村木さんが注力しているのが、地域貢献活動を通じた職人の育成・確保です。毎年地元

木の温かみを感じる「板倉造り」に定評
地域貢献を通じた職人育成にも尽力

有限会社 村木建築工房

村木 幹直 社長

望してくれた」と村木さん。大工の魅力を伝えるだけでなく、未来を担う子供たちの職業選択の幅を広げているという点でも、業界のみならず社会的にも大きな意義のある活動と言えます。

JBNの大工育成委員のほか、静岡県の大工育成プロジェクトにも携わる村木さんですが、今後の目標は「職人がやめない仕組み」を作ること。指導方法の改善や、若者が孤立しないための採用のあり方を模索するなど、未来を見据えた意欲的な取り組みが続きます。



▶工業高校の建築研究部3年生が建てた東屋。部員の半数は女性で、部活を通して手仕事の楽しさを知る生徒も多い。

◆JBN全国会員交流会 2023 in 大阪

JBN全国会員交流会2023 in 大阪の分科会の内容が決まりましたので、お知らせいたします。詳細はHPなどでご案内いたします。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

開催日

【式典・JBN近畿ブロック連携団体活動報告・基調講演・懇親会】
9月26日(火) 13:30~19:00

開催場所

【分科会】
9月27日(水) 9:00~15:00

【式典・JBN近畿ブロック連携団体活動報告・基調講演・分科会】
大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)

【懇親会】
リーガロイヤルホテル大阪

●基調講演 「日本のすまい～土足の限界～」

井上 章一氏(国際日本文化研究センター所長)

●懇親会

懇親会のオープニングに吉本芸人が登場!
そして、京都の舞子さんも参加!
お好み焼き、いか焼き、たこ焼きも出ます!

●分科会プログラム

第1部分科会	A	中大規模木造委員会	工務店が使える新技術と2025年対応について 講師 飯塚 豊 氏(株式会社アイプラスアサイ設計事務所 代表取締役) 講師 齊藤 年男 氏(株式会社細田工務店 理事)
	B	既存改修委員会	工務店の未来と既存改修工事 講師 三澤 文子 氏(有限会社エムズ建築設計事務所 代表取締役)
第2部分科会	C	次世代の会	新時代へ、地域工務店10年ビジョン ～山と繋がり、新たな領域を拓く～ 講師 古川 大輔 氏(株式会社古川ちきの総合研究所 代表取締役)
	D	環境委員会	高性能住宅が陥りがちな事故事例から学ぶ 講師 久保田 仁司 氏(有限会社第一浜名建設) 講師 古川 繁宏 氏(住まい環境プランニング合同会社)
第3部分科会	E	国産材委員会	どうなる? 世界の木材 日本の木材 講師 木村 司 国産材委員
	F	経営問題対策委員会	地域工務店の事業承継実例紹介 講師 吉瀬 融 氏(株式会社 コア建築工房 取締役会長)

セミナー開催のお知らせ (詳細やお申込み方法の確認はHPの開催案内をご覧ください。)

「改修版 自立循環型住宅への設計ガイドライン」講習会

IBECsの「改修版 自立循環型住宅への設計ガイドライン」を学ぶ講習会です。このガイドラインは、新築に比べて推計が難しい改修の「省エネルギー効果」について、改修前の建物性能のさまざまな確認方法を示し、エネルギー消費量についても用途分解の考え方や改修前後の削減効果の推計方法を提案しています。



また、実際の改修で多く行われている部分改修における区画熱損失係数や、設計段階で確認すべき内容とその方法を丁寧に取り上げ、改修実務者が省エネルギー改修住宅を設計して効果を推計する際に必要な内容を網羅しています。

省エネルギー改修リフォーム設計・施工を行う方は、ご自身の省エネ設計知識への不安や悩みの解消・スキルアップにぜひ受講ください。

【開催日】全3回 11月10日(金)「自立循環型住宅設計講習会 改修版」
12月 4日(月)「自立循環型住宅改修版 用途分解の解説」
12月 11日(月)「エネルギー計算とライフサイクルコスト」

【時間】13:30~17:00 【開催場所】オンライン

【講師紹介】岐阜県立森林文化アカデミー 教授 辻充孝 氏

【受講料】1名 7,000円(テキスト代・送料込)

【共催】一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター

令和5年度 工務店向け働き方改革セミナー開催

2024年4月より、建設業界でも働き方改革が始まります。その対策として、今年度は、より実績的な採用や労務管理を対象としたセミナーを開催します。

10月以降には、就業規則に関する3回連続セミナーを予定しております。ぜひ、会員の皆様ご参加下さい。

【開催日・内容】

8月 8日(火)「採用力アップのための社内の仕組みづくり」

- ライフステージにあった働き方 ○社内研修制度
- くるみん、えるばし、ユースエール等のマーク認定

9月12日(火)「労務管理のQ&A」

- 採用～退職までに気を付けなくてはいけないポイント
- ローパフォーマーへの対応 ○多様な働き方への対応

【時間】13:30~15:30 (8月9月とも同じ時間に開催)

【受講料】無料・オンラインにて開催

【講師紹介】社会保険労務士法人アスミル 代表
特定社会保険労務士 櫻井 好美 氏

刊行物のご案内 (刊行物のお申込みはJBNホームページをご覧ください。)



マナーアップハンドブック [工事現場編]

手帳サイズ 32ページ

挨拶の基本から現場近隣への挨拶まわり、車の止め方、身だしなみ、言葉づかいなど現場マナーの基本をご紹介しています。



中大規模施工施工管理マニュアル&講習会アーカイブ動画の紹介

A4版 87ページ

(正会員専用ページの動画アーカイブにて動画および)

(資料がご覧になれます。)

JBNは国土交通省令和3年度環境・ストック活用推進事業の支援により、木造住宅を中心に事業展開する大工・工務店が新たに非住宅木造建築の分野に参入することを想定した、地域工務店向けの「中大規模木造建築物の施工管理マニュアル」を作成しております。PWAで整備されている「構造木工事監理マニュアル」と併せて利用することにより、非住宅建築に求められる安全で高品質な木造建築物が我々の手で確実に施工されることを期待しています。

JBNはさまざまご相談(技術、法律、支援等)をお受けしております。

ホームページ(トップページの最下欄)のお問合せフォームをご利用いただくか、下記へお問合せください。



【発行・お問合せ】

一般社団法人JBN・全国工務店協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-4-10 京橋北見ビル東館6階

Tel.03-5540-6678 Fax.03-5540-6679 E-Mail:jbn@jbn-support.jp URL:<https://www.jbn-support.jp>